

JT-T522

ドキュメントバルク転送のための
通信アプリケーションプロファイルBT1

Communication Application Profile BT.1
for the Document Bulk Transfer

第2版

1993年4月27日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

<参考>

1. 国際勧告等との関連

本標準は、ドキュメントバルク転送のための通信アプリケーションプロファイルBT1について記述しており、1992年4月に開催されたCCITT SGVIII会合での決議2に基づくCCITT勧告T. 522に準拠したものである。

(注) 本文中の『CCITT』の記述は、1993年3月の世界電気通信標準化会議(WTSC-93)の結果を受けて、

- ・CCITT勧告については、ITU-T勧告
- ・CCITTの組織については、ITU-TS
- ・1993年3月のCCITT総会については、世界電気通信標準化会議(WTSC-93)と読み換えて下さい。

2. 上記国際勧告に対する追加項目等

2.1 オプション選択項目

なし

2.2 ナショナルマター決定項目

なし

2.3 修正項目

本標準を審議するに当たり基本とした国際勧告において、その内容より判断して明らかに誤りと思われる下記項目に関して、修正を行った。

本標準中の箇所	国際勧告中の表記	修正後（本標準で）の表記
5.3.4 表5-2	D-INITIATE	D-CAPABILITY

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	平成 2年 4月25日	制定
第2版	平成 5年 4月27日	CCITT勧告T. 522の改訂に伴う規定の追加、削除および表現の適正化による改版

4. その他

(1)参照している勧告、標準等

CCITT勧告： T.431(1993)、T.432(1993)、T.433(1993)、X.200 シリーズ

5．工業所有権

本標準に関わる「工業所有権の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページでご覧になれます。

目 次

0. 序論	1
1. 本標準の規定範囲	1
2. 参照勧告等	1
3. 定義	2
4. 略語と規約	2
5. 通信アプリケーションプロファイルBT1の定義	2
5.1 BT1の概要	2
5.2 DTAM機能単位	2
5.3 DTAMサービスプリミティブとパラメータ	2
5.3.1 D-INITIATEサービスパラメータ	2
5.3.2 D-TERMINATEサービスパラメータ	4
5.3.3 D-U-ABORTサービスパラメータ	4
5.3.4 D-CAPABILITYサービスパラメータ	5
5.3.5 D-TRANSFERサービスパラメータ	6
5.3.6 D-CONTROL-GIVEサービスパラメータ	6
5.3.7 D-TOKEN-PLEASEサービスパラメータ	6

0. 序論

CCITT勧告T. 400シリーズは、ドキュメント転送及び操作のための開放型文書構造(ODA)(T. 410シリーズ)とDTAMサービス及びプロトコル(T. 430シリーズ)について定義している。T. 400シリーズを種々のテレマティックサービスに適用するためには、ドキュメントアプリケーションプロファイルと通信アプリケーションプロファイルからなる各サービスのための、DTAMアプリケーションプロファイルを規定する必要がある。

この要求に従い、CCITT勧告T. 500シリーズではドキュメントアプリケーションプロファイルを定義し、同T. 520シリーズでは通信アプリケーションプロファイルを定義する。

本標準JT-T522はCCITT勧告T. 520シリーズの一つであるT. 521に準拠したものであり、ここで定義する通信アプリケーションプロファイルは、CCITT勧告X. 200の環境を使ったドキュメントバルク転送のためのものである。

1. 本標準の規定範囲

本標準は次の項目についてドキュメントバルク転送のための通信アプリケーションプロファイルを定義する。

- (1)使用するDTAM機能単位
- (2)使用するDTAMサービスプリミティブとパラメータ

2. 参照勧告等

本標準で定義される通信プロファイルを実行するためには以下の参照勧告が必要である。

- CCITT勧告T. 431(1993) : 「ドキュメント転送及び操作(DTAM)、
サービス及びプロトコル、概要及び一般原則」
- CCITT勧告T. 432(1993) : 「ドキュメント転送及び操作(DTAM)、
サービス及びプロトコル、サービス定義
- CCITT勧告T. 433(1993) : 「ドキュメント転送及び操作(DTAM)、
サービス及びプロトコル、プロトコル仕様

3. 定義

CCITT勧告T. 400シリーズの定義が本標準にも適用される。

4. 略語と規約

CCITT勧告T. 400シリーズの略語と規約が本標準にも適用される。

5. 通信アプリケーションプロファイルBT1の定義

5.1 BT1の概要

本標準ではCCITT勧告T. 431に従って機能単位と通信サポート機能を定義する。BT1は、CCITT勧告T. 433で定義されたように、標準モード(RTSE)でドキュメントバルク転送を使用する。

5.2 DTAM機能単位

CCITT勧告T. 432で定義される以下の機能単位がBT1に使用される。

- (1)アソシエーションユース制御(カーネル)
- (2)能力
- (3)ドキュメントバルク転送
- (4)トークン制御

5.3 DTAMサービスプリミティブとパラメータ

一般DTAMサービス定義とパラメータは、CCITT勧告T. 432で定義される。本節では、BT1のためのDTAMサービスパラメータを定義する。

5.3.1 D-INITIATEサービスパラメータ

本サービスのテレマティック要求とアプリケーション能力のパラメータは以下のように使用される(表5-1/JT-T522参照)。また、透過モードサポートパラメータは使われない。その他のサービスパラメータは、CCITT勧告T. 432で定義されたように使われる。

(1) テレマティック要求

CCITT勧告T. 432で定義される以下の機能単位が必須機能単位としてBT1で使用される。

- (a) アソシエーションユース制御 (カーネル)
- (b) ドキュメントバルク転送
- (c) トークン制御
- (d) 能力

(2) アプリケーション機能

この「アプリケーション能力」は、CCITT勧告T. 432で定義され、以下のサブパラメータが使われる。

—ODAアプリケーション能力

- (a) ドキュメントアプリケーションプロファイル

このパラメータは、CCITT勧告T. 432で定義されたように使われる。

- (b) 非基本ドキュメント特性

これは、CCITT勧告T. 432で定義される「非基本ドキュメント特性」である。

- (c) 非基本構造特性

これは、CCITT勧告T. 432で定義される「非基本構造特性」である。

—ファイル転送能力

- (a) b f t (バイナリファイル転送) 能力

このパラメータは、CCITT勧告T. 432で定義されたように使われる。

- (b) 透過データ能力

このパラメータは、CCITT勧告T. 432で定義されたように使われる。

表5-1/JT-T522

BT1のためのテレマティック要求条件とアプリケーション能力サービスパラメータの用法
(CCITT T.522)

	D-INITIATE 要求	D-INITIATE 指示	D-INITIATE 応答	D-INITIATE 確認
テレマティック要求条件	M	M (=)	M	M (=)
アプリケーション能力	M	M (=)	M	M (=)
-ODAアプリケーション能力 ドキュメントアプリケーションプロファイル 非基本ドキュメント特性 非基本構造特性 -ファイル転送能力 bft(バイナリファイル転送)能力 透過データ能力	M U U U U	M (=) C (=) C (=) C (=) C (=)	M U U U U	M (=) C (=) C (=) C (=) C (=)

M：必須

U：ユーザオプション

C：以前のプリミティブの他のパラメータのネゴシエーションが成功したという条件で存在する。

(=)：パラメータ値が表中の左の値に等しいことを意味する。

5.3.2 D-TERMINATEサービスパラメータ

本サービスはBT1に対するパラメータを持たない。イニシエータだけが、D-TERMINATEを発行できる。さらに、イニシエータがデータトークンを持っているときのみD-TERMINATEを発行できる。

5.3.3 D-U-ABORTサービスパラメータ

本サービスは「ユーザ情報」のパラメータを持つ。

このパラメータは、CCITT勧告T.432で定義されたように使われる。

5.3.4 D-CAPABILITYサービスパラメータ

本サービスのパラメータは以下の通りである（表5-2/JT-T522参照）。

アプリケーション能力

この「アプリケーション能力」は、CCITT勧告T. 432で定義され、以下のサブパラメータが使われる。

-ODAアプリケーション能力

(a)ドキュメントアプリケーションプロファイル

このパラメータは、CCITT勧告T. 432で定義されたように使われる。

(b)非基本ドキュメント特性

これは、CCITT勧告T. 432で定義される「非基本ドキュメント特性」である。

(c)非基本構造特性

これは、CCITT勧告T. 432で定義される「非基本構造特性」である。

-ファイル転送能力

(a)bft（バイナリファイル転送）能力

このパラメータは、CCITT勧告T. 432で定義されたように使われる。

(b)透過データ能力

このパラメータは、CCITT勧告T. 432で定義されたように使われる。

表5-2/JT-T522

BT1のためのアプリケーション能力サービスパラメータの用法
(CCITT T.522)

	D-CAPABILITY 要求	D-CAPABILITY 指示	D-CAPABILITY 応答	D-CAPABILITY 確認
アプリケーション能力	M	M (=)	M	M (=)
-ODAアプリケーション能力				
ドキュメントアプリケーションプロファイル	M	M (=)	M	M (=)
非基本ドキュメント特性	U	C (=)	U	C (=)
非基本構造特性	U	C (=)	U	C (=)
-ファイル転送能力				
bft(バイナリファイル転送)能力	U	C (=)	U	C (=)
透過データ能力	U	C (=)	U	C (=)

5.3.5 D-TRANSFERサービスパラメータ

このパラメータは、CCITT勧告T. 432で定義されたように使われる。

5.3.6 D-CONTROL-GIVEサービスパラメータ

このパラメータは、CCITT勧告T. 432で定義されたように使われる。

5.3.7 D-TOKEN-PLEASEサービスパラメータ

D-TOKEN-PLEASEサービスは、データトークンを要求するのに使われる。
このパラメータは、CCITT勧告T. 432で定義されたようにパラメータ優先順位を持つ。BT1は、値2（標準優先順位）を使用する。

（注）D-TOKEN要求への返答として、D-CONTROL GIVE要求を送信するかどうかは、ユーザオプションである。